

「国際問題を考える」高校生との夏の交流会・子どもの国際人権ワークショップ実施報告書

— 「国際平和と人権・人道法研究会」2022年度の活動報告②—

藤井 広重

新井廉（4年）、菊地翔（4年）、鈴木ひとみ（4年）、佐藤野乃果（1年）、
下山愛叶（1年）、鈴木望夢（1年）、横井春香（1年）

概要

2022年8月29日に、宇都宮大学国際学部公開セミナー「『国際問題を考える』高校生との夏の交流会・子どもの国際人権ワークショップ」を実施した。子どもの国際人権ワークショップは、栃木県内の高校生を対象にこれまで藤井広重研究室が取り組んできた活動であり、今年度は、初めて宇都宮大学を会場に開催した。同ワークショップは参加者とのロールプレイを通じて、紛争地で子どもたちの人権がどのように守られるのか/守られるべきなのか、子どもたちの人権はどのように扱われているのか、どのような状況が望ましいのか等について考え、子どもの権利について参加者が主体的に考える機会を提供することを目的としている。また、ワークショップ終了後には、ファシリテーターを務めた現役の大学生と、参加者である高校生との懇親の時間を設け、大学での学びや疑問等を気軽に相談、話し合う機会とした。



実施報告と感想

今回の「子どもの国際人権ワークショップ」は、約1時間半のプログラムで構成されている。まずは、大学生が作成した導入動画を視聴する。ワークショップの前提となる人権および子どもの権利条約について、理解を深める内容になっている。

次に、「子どもの人権に基づく町づくりプロジェクト」という名のロールプレイを行う。このロールプレイは前半の交渉アクティビティと後半の町作りにて構成される。紛争が発生している仮想国のシナリオシートを基に、参加者がその状況を改善しようとする人権保護団体の職員になりきる。前半の交渉アクティビティでは、活動資金の出資者と交渉し、町作りのための資金集めをするというロールプレイを行う。大学生は出資者となり、高校生は複数のグループに分かれ交渉を行う。出資者には、レベルが設定されており、気難しい出資者や英語話者の出資者ほど、交渉がうまくいけば得られる金額が多い。このアクティビティでは、交渉の際に、どういった子どもの人権が侵害されているのか、法的根拠に基づいて説得することが期待される。

後半の町づくりでは、前半の交渉アクティビティにて集めた資金をもとに、子どもの権利を保護するために必要な施設や専門家を、事業一覧表を参考にして選び、子どもの権利が保障される町のイラストを作成し、最後にそれらの事業を行う狙いをグループごとに説明する。様々

な子どもの権利に対し、限られた資金の中で町づくりを行うため、グループによって異なる町並みができる。



最後のまとめでは、大学生がそれぞれのグループに対する講評と解説を行う。参加者は、はじめ戸惑いながらも、交渉アクティビティの中で他校の参加者とも協力し、積極的に取り組む姿が見られた。また、専門的な知識や人権についての予備知識がない状態であるからこそその純粋な視点や、疑問といったものがあり、大学生が学ぶ点もあった。

日本では改めて人権という言葉について考える機会や国際的な人権基準を学ぶ機会はありません。人権は、どこか堅苦しいイメージがあり、机上の知識としてそこで理解が止まってしてしまうことがあるが、現実には、人権は多くの国際的な問題の根幹にあるものである。さらには自分たちの生活にも場面場面で密接に関わっているということを忘れてはならない。

本ワークショップでは、架空のシナリオなが

ら具体的な状況を設定することで、人権問題を認識し、どのような解決策が可能であるのか、課題解決型の学習の機会を提供している。

最後に、今回のワークショップやその準備を通じて、大学生自身も紛争地の暴力、宗教、衣食住や教育などに関連する様々な子どもの権利についてさらに考えることができたことで、子どもの権利を守ることの大切さを改めて確認できた。今現在も紛争が続いている地域がある中、現地の詳細な状況を普段の日本のテレビや新聞から受け取ることは少なく、情報を手に入れるには、自発的に探す必要がある。武力紛争が発生すると多くの子どもたちが犠牲になっている。紛争下や平和構築における子どもの権利とその具体的な中身について知っておくことは平和に向けた建設的な議論には欠かせない知識である。私たちはこの子どもの国際人権ワークショップで、より多くの高校生が国際問題に関心を持ち、知識も深められるよう、今後も活動を続けていきたい。



宇都宮大学国際学部公開セミナー：「国際問題を考える」高校生との夏の交流会
宇都宮大学国際学部藤井研究室・UIPJ共催

子どもの国際人権ワークショップ

8/29 開催と参加者募集のお知らせ



今なお、武力紛争は発生しています。

子どもの国際人権ワークショップでは、ロールプレイを通じて紛争が子どもたちに与える影響、紛争の影響から子どもたちを守るためには何が必要なのかを考えるきっかけを提供いたします。これまで、本ワークショップは高校での出前授業として実施してきましたが、このたび、初めて宇都宮大学にて開催することになりました！人権や紛争などの国際問題に興味のある高校生の皆さん、ぜひ以下の申込みフォームよりご応募ください！

*また、ワークショップ後には、現役大学生とのフリートークの時間も設けています。大学での生活・学びについて、気軽にご質問ください。

当日のプログラム内容

1. 事前アンケート等の記入
2. イントロダクション～国際人権法と子どもの権利について～
3. 交渉アクティビティ（大学生の補助が入ります。初めての方も楽しんでご参加ください）
－人権保護団体の職員の役を演じながら、出資者の役を演じる大学生と交渉を行い、子どもの権利を守るための資金調達を目指します！
4. 町づくり
－調達した資金で、子どもの権利が守られる町づくりを行います！
5. まとめと事後アンケートの記入
6. 大学生への質問コーナー

*ワークショップの概要および学術的な意義については「国際人権教育における子ども・若者参加の実践と課題－「人権」と「参加」をめぐる課題解決型学習の試み－」宇都宮大学国際学部附属多文化公共圏センター年報(14) 89-101 2022年3月、も右上QRコードよりご参考ください。



日時：8月29日（月）14:00～16:00

対象：高校生（開催時感染症対策をいたしますのでご協力ください）

※保護者の方には控室をご用意します

参加費：無料

参加定員：30名

場所：宇都宮大学峰キャンパス（対面）

お申込みフォーム

<https://forms.gle/8kpyWop7eTRqi4eA8>

代表教員：国際学部准教授 藤井広重 (fujiih[@]cc.utsunomiya-u.ac.jp)



※本ワークショップは、2021年に宇都宮大学SDGs推進奨励賞に選ばれ、開催にあたって2022年度宇都宮大学イベント等支援経費、大学コンソーシアムとちぎ令和4年度学生生活活動支援事業からご支援を賜りました。